科	1名	コミュニケー	−ション論 I		指導担	当者名	木村	美紀子
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科1年	,
授業	方法	講義:◎	演	習:	実習	i:O	実	技:
時間	間数	30時間		週時間数		1日	持間	
学習到	達目標	社会人として必要な心構えとビシロールプレイング・練習問題を通						
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成身点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	検によって行われ 自試験を実施する )(優)、B(70点	ι、受験資格として る。 ~79点)(良)、(	て授業実施の出 C(60点~69点	第率80%以上を )(可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結
	教材	期末試験、出席率、授業態度に	より評価する					
授業外学習								
学期	ターム	項目			内容•準備資料等			
	1	コミュニケーションの持つ力		コミュニケーショ	ンを考える			
	2	聞く力	目的に即して聞	<				
	3	聞く力		傾聴・質問する				
	4	話す力		目的を意識する	1			
	5	話す力		目的を意識する	1			
	6	話す力		話を組み立てる				
授 業	7	話す力		話を組み立てる				
計	8	話す力		表現・伝達する				
画	9	話す力		表現・伝達する				
前期	10	コミュニケーション実践		来客応対				
	11	コミュニケーション実践		電話応対				
	12	コミュニケーション実践		アポイントメント・	·訪問·挨拶			
	13	前期試験		前期試験				
	14	前期試験解説		アポイントメント・	·訪問·挨拶			
	15	コミュニケーション実践		情報共有の重要	 <b>E性</b>			-
	16	コミュニケーション実践		チームコミュニク	ケーション			

科目	 ]名	コミュニケー	ーション論 I		指導担	 当者名	木村	 美紀子	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	通年		対象学	科学年		<del> </del> 観光科1年	<u> </u>	
授業	方法	講義:	演	習:		 習:	実	 技:	
時間	間数	30時間		週時間数		18	寺間		
学習到	達目標	社会人として必要な心構えとビジロールプレイング・練習問題を通							
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
使用教材コミュニケーション技法、コミュニケーション検定初級過去問題集									
	1学習 方法	行った内容の復習。課題が出され	れた場合は自宅	にて実施。					
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	17	話す力		応用					
	18	話す力		クレーム対応					
	19	話す力		会議・取材・ヒア	リング				
	20	面接		面談試験対策					
	21	面接		ロールプレイングで練習					
	22	面接		各自練習し改善する					
授 業	23	面接		受け答えの基本	;				
計	24	面接		スピーチの練習					
画	25	礼状の書き方		練習					
後 期	26	模擬試験		過去問題、解説					
	27	模擬試験		過去問題、解説					
	28	模擬試験		過去問題、解説					
	29	模擬試験		過去問題、解説					
	30	模擬試験		過去問題、解説					
	31	後期試験		後期試験					
	32	後期試験解説		後期試験解説					
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない									

科目	目名	キャリア	プラン I		指導担当	者名	佐藤	宗		
実務	経験					!	実務経験:			
開講	時期	通年		対象学	科学年	Į	観光科1年			
授業	方法	講義∶○	演習	·:	実習: ©		実	技:		
時間	引数	44時間		週時間数		1時	間			
学習到	達目標	自己分析や生涯設計を通して、社	社会へ巣立つ準備	を積み重ねて	uv<					
評価評価	方法 基準	・出席 ・授業態度 ・成果物の出来栄え(完成度・オ・ ・提出課題 ・期末試験 等の成績								
使用教材 ウイネット 面接対策&ビジネスマナー										
授業を	▶学習 5法									
学期	ターム	項目			内容・準備資料等					
	1	オリエンテーション	オ	オリエンテーション						
					外部講師による特別授業					
	2	スーツの着こなし講座	外	ト部講師による	特別授業					
	2	スーツの着こなし講座	91	ト部講師による	特別授業					
		スーツの着こなし講座 学校のシステムの紹介			特別授業 発行サービスの使し	<b>い</b> 方				
	3		, b		発行サービスの使し	<b>、</b> 方				
	3	学校のシステムの紹介	ਸ ਹ	<b>」レトモ・申請書</b>	発行サービスの使 <b>し</b> ・使い方	\方				
授業	3 4 5	学校のシステムの紹介 就職活動準備	л ч 2	コレトモ・申請書	発行サービスの使 <b>し</b> ・使い方	<b>い方</b>				
業計	3 4 5 6 7	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備	л ч 2	コレトモ・申請書 マイナビの登録 ブループディスス	発行サービスの使い ・使い方 カッション	<b>い方</b>				
業 計 画	3 4 5 6 7	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備 就職活動準備	カ マ ク テ 動	コレトモ・申請書 マイナビの登録 ブループディスス ディベート	発行サービスの使い ・使い方 カッション の使い方	\方				
業計	3 4 5 6 7 8	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備 就職活動準備 ICT教育	カ マ ク テ 動	ロレトモ・申請書 マイナビの登録 ブループディス: ディベート 動画作成アプリ	発行サービスの使い ・使い方 ウッション の使い方 の使い方	<b>い方</b>				
業計画後	3 4 5 6 7 8	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備 就職活動準備 ICT教育	カマクテ 東 動	コレトモ・申請書 マイナビの登録 ブループディスス ディベート か画作成アプリ か画作成アプリ か画作成アプリ	発行サービスの使い ・使い方 ウッション の使い方 の使い方					
業計画後	3 4 5 6 7 8 9	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備 ICT教育 ICT教育 ICT教育	カ マ ク テ 動 動	コレトモ・申請書 アイナビの登録 ブループディス ディベート か画作成アプリ か画作成アプリ か画作成アプリ か画作成アプリ	発行サービスの使し ・使い方  カッション  の使い方  の使い方  の使い方  の使い方					
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備 ICT教育 ICT教育 ICT教育 ICT教育	カ マ ク テ 動 動	コレトモ・申請書 アイナビの登録 ブループディス ディベート か画作成アプリ か画作成アプリ か画作成アプリ か画作成アプリ	発行サービスの使い ・使い方 カッション の使い方 の使い方 の使い方					
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10 11	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備 ICT教育 ICT教育 ICT教育 ICT教育	カマクテ 重 重 重	コレトモ・申請書 マイナビの登録 ブループディス ディベート か画作成アプリ か画作成アプリ か画作成アプリ がのgle関連サー ioogle関連サー	発行サービスの使い ・使い方 カッション の使い方 の使い方 の使い方					
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備 にて教育 ICT教育 ICT教育 ICT教育 ICT教育	カマクテ 重 重 重	コレトモ・申請書 マイナビの登録 ブループディス ディベート か画作成アプリ か画作成アプリ か画作成アプリ がのgle関連サー ioogle関連サー	発行サービスの使い ・使い方 かッション の使い方 の使い方 の使い方 ・ビス(スプレッドシー ・ビス(フォーム)					
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	学校のシステムの紹介 就職活動準備 就職活動準備 にて教育 ICT教育 ICT教育 ICT教育 ICT教育	カマクテ 重 重 重	コレトモ・申請書 マイナビの登録 ブループディス ディベート か画作成アプリ か画作成アプリ か画作成アプリ がのgle関連サー ioogle関連サー	発行サービスの使い ・使い方 かッション の使い方 の使い方 の使い方 ・ビス(スプレッドシー ・ビス(フォーム)					

科目	1名	キャリア		指導担	当者名	佐藤	宗		
実務	経験	ħ	旅行会社にて4年	F間従事した経歴			実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科 1年		
授業	方法	講義∶○	演	習:	実習	:⊚	実技	Į:	
時間	引数	44時間		週時間数		1	時間		
学習到	達目標	自己分析や生涯設計を通して、ネ	t会へ巣立つ準	備を積み重ねてし	,\<				
評価評価	方法 基準	・出席 ・授業態度 ・成果物の出来栄え(完成度・オ・ ・提出課題 ・期末試験 等の成績							
使用	教材	ウイネット 面接対策&ビジネスマナー							
授業を		<u> </u>							
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	17	オリエンテーション		オリエンテーショ	ン				
	18								
	19								
	20	ビジネスマナー基礎		第一部 I.社会	会人になるとは①	)			
	21	ビジネスマナー基礎		第一部 I.社会	会人になるとは②	)			
	22								
授 業	23	面接対策		第二部 Ⅱ. 自己	3分析①				
計	24	面接対策		第二部 Ⅱ.自己	已分析②				
画	25								
後 期	26	面接対策		第二部 Ⅲ.履歷	陸書				
	27	面接対策		第二部 Ⅲ. 自己	PR2				
	28	面接対策		第二部 Ⅲ. 自己	PR3				
	29								
	30								
	31	期末試験		期末試験					
	32	期末試験フィードバック		期末試験フィードバック					
履修上(	を上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない								

科目	1名	一般教著	表演習 I		指導担	当者名	遠藤	紀子	
実務	経験			<u>'</u>			実務経験:		
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科1年		
授業	方法	講義:◎	演習	I:O	実	習:	実	技:	
時間	引数	30時間		週時間数		1時	<b>計</b> 間		
学習到	達目標	・就職採用試験に向けての準備・就職支援サイト等を活用しWebi・就職に対するモチベーションの・iPadの積極的な活用(データで	塻擬試験を受験 向上						
評価評価		学期末試験の実施及び実習成界点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には近 成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格とし	食によって行われ a試験を実施する (優)、B(70点	、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	「授業実施の出」 (60点~69点)	席率80%以上を )(可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結	
使用	教材	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集、iPad、プリント							
	授業外学習								
学期	ターム	項目			内容·準備資料等				
	1	オリエンテーション		自己紹介、今後の	の授業の進め方	Ī			
	2	就職支援サイトの活用 就職支援サイトの登録、一般常識とSPIの違いについて説明							
	3	国語		漢字の読み①音	読み				
	4	国語		漢字の読み②訓読み					
	5	国語		漢字の読み③会	社、ビジネス社	会でよく使われる	用語		
	6	社会		都道府県					
授 業	7	社会		都道府県庁所在	地				
計	8	社会		都道府県と都道	府県庁所在地 <i>σ</i>	確認テスト			
画	9	数学		式と計算①					
前 期	10	数学		式と計算②					
	11	数学		速さの基礎					
	12	英語		基本単語					
	13	英語		時事英語					
	14	英語		熟語、英略語					
	15	英語		発音、ことわざ					
	16	英語		文法					
	の留意点 出度率:	80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない							

科目	目名	一般教養	養演習 I		指導担	!当者名	遠藤	紀子
実務	経験			•			実務経験:	無
開講	時期	通年		対象学	科学年	1年(スポーツビジ	ジネス科・ホテルビジ	ジネス科・観光科)
授業	方法	講義:◎	演習	0:0	実	· 習:	実持	支:
時間	引数	30時間		週時間数		18	持間	
学習到	達目標	・就職採用試験に向けての準備・就職支援サイト等を活用しWebを記職に対するモチベーションのトラロの積極的な活用(データでの	塻擬試験を受験 向上					
評価評価		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。						
	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集、iPad、プリント 外学習 ## F ポル・レス・ウンザ W							
授業外学習								
学期	ターム	項目			内容·準備資料等			
	17	数学		旅人算、通過算				
	18	数学		流水算				
	19	数学		割合の基礎				
	20	社会		世界地理①				
	21	社会		世界地理②				
	22	社会		日本史				
授業	23	社会		世界史				
授 業 計	24	国語		漢字の書き取り	D			
画	25	国語		漢字の書き取り	2			
後 期	26	国語		同意語·類義語				
	27	国語		反対語				
	28	国語		四字熟語				
	29	数学		図形と角度				
	30	期末試験		期末試験				
	31	国語・社会・数学・英語		総復習				
	32	Web模擬試験		Web模擬試験の	 実施			
履修上(	という							

科目	目名	旅行	業法		指導担	当者名	熊田	芳子	
実務	経験	航当	と会社および旅行	テ会社にて14年徒	连事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科1年		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:	
時間	間数	32時間		週時間数		2₽	寺間		
学習到	達目標	国内旅行業務取扱管理者試験に	こ合格する為のタ	田識を身につける	為。				
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
使用教材 UーCANテキスト 授業外学習									
	授業外学習								
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	1	旅行業法		目的·定義					
	2	旅行業法		申込手続·業務	の範囲				
	3	旅行業法		申込手続·業務	の範囲				
	4	旅行業法		登録					
	5	旅行業法		登録					
	6	旅行業法		営業保証金					
授 業	7	旅行業法		営業保証金					
計	8	旅行業法		取扱管理者					
画	9	旅行業法		料金・約款					
前期	10	旅行業法		取引条件·書面					
	11	旅行業法		取引条件·書面					
	12	旅行業法		外務員・広告・標	震識				
	13	旅行業法		旅程管理·禁止	行為				
	14	旅行業法		代理業·受託販	<del></del>				
	15	旅行業法		業務取消・改善	命令•苦情				
	16	期末試験		期末試験					
履修上	の留意点 出席率	期末試験 期末試験 おの後に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない							

科目	3名	旅行掌	<b>業約款</b>		指導担当	者名	熊田	芳子		
実務	経験	航3	と会社および旅行	テ会社にて14年徒	事		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科1年			
授業	方法	講義∶○	演	習:	実習:	:	実	<del></del> 支:		
時間	間数	48時間		週時間数		38	寺間			
学習到	達目標	国内旅行業務管理者試験に合格	各する為の知識を	を身につける。						
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し点で評価している。 評価方法 評価基準 財末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。其 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							期末試験の結			
使用	教材	数材 U-CANテキスト								
	小学習 方法	授業内容の復習。課題が出され	た場合は自宅に	て実施。						
学期	ターム	項目			内容	*準備資料	等			
	1	旅行業約款(企画旅行)		総則						
	2	旅行業約款(企画旅行)		契約の締結・書	面					
	3	旅行業約款(企画旅行)		契約の締結・書面						
	4	旅行業約款(企画旅行)		契約の変更・解	<del></del>					
	5	旅行業約款(企画旅行)		契約の変更・解	除					
	6	旅行業約款(企画旅行)		団体契約·旅程	管理·責任					
授業	7	旅行業約款(企画旅行)		団体契約・旅程・	管理·責任					
業計	8	旅行業約款(企画旅行)		特別補償規定						
画	9	旅行業約款(手配・相談)		特別補償規定						
前期	10	運送約款		運送約款						
	11	バス約款		バス約款				-		
	12	宿泊約款		宿泊約款						
	13	期末試験		期末試験						
	14	国家試験対策		国家試験対策						
	15	国家試験対策		国家試験対策						
	16	国家試験対策		国家試験対策						
履修上	10   120000000000000000000000000000000									

科目	目名	国内旅行	τ実務A		指導担	!当者名	平野	二美子	
実務	経験	ホテルおよ	び全国通訳案内	士で通訳業務に	6年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科1年	•	
授業	方法	講義∶○	演	習:	実	· 習:	実	技:	
時間	引数	78時間		週時間数		5時	持間		
学習到	達目標	国内旅行業務取扱管理者試験に	□必要な実力の割	養成					
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点で評価している。 評価方法 評価基準 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。  使用教材 国内観光資源 / 国内観光地理サブノート/ 速習問題集 / プリント							期末試験の結		
使用	使用教材 国内観光資源 / 国内観光地理サブノート/ 速習問題集 / プリント								
授業外学習 の方法 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。									
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	1	国内観光資源 北海道、青森県							
	2	国内観光資源		岩手県、宮城県	•秋田県				
	3	国内観光資源		祝日(休講)山飛	/県(5/7)、福島県	県・茨城県(5/8)			
	4	国内観光資源		栃木県・群馬県(5/13)、埼玉県・千葉県(5/14)東京都(5/15)					
	5	国内観光資源		神奈川県・伊豆(	(5/20)、新潟県(	5/21)休講(5/22)			
	6	国内観光資源		富山県・石川県	(5/27)、福井県(	5/28)山梨県・長	野県(5/29)		
授 業	7	国内観光資源		岐阜県·静岡県	(6/3)、愛知県(6,	/4)三重県·滋賀!	県(6/5)		
計	8	国内観光資源		京都府(6/10)、(	木講(6/11, 6/12	)			
画	9	国内観光資源		大阪府·兵庫県	(6/17)、奈良県(	6/18)和歌山県・	鳥取県(6/19)		
前期	10	国内観光資源		島根県·岡山県	(6/24)、広島県(	6/25)山口県·徳.	島県(6/26)		
	11	国内観光資源		香川県·愛媛県	(7/1)、高知県(7	/2)福岡県・佐賀!	県(7/3		
	12	国内観光資源		長崎県·熊本県	(7/8)、大分県(7	/9)宮崎県·鹿児.	島県(7/10)		
	13	国内観光資源		祝日(7/15)沖縄	県(7/16)、期末記	试験前学習(7/17	")		
	14	国内観光資源		期末試験(7/22)	、過去問題演習	(7/23, 24)			
	15	国内観光資源		過去問題演習					
	16	国内観光資源	_	カテゴリー別資源	原、まとめ				
履修上(	修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない								

科目	1名	国内旅	行実務B		指導担	当者名	佐藤	宗	
実務	経験	j	旅行会社にて4年	F間従事した経歴	Ē		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科1年		
授業	方法	講義:○	演	習:	実	習:	実	技:	
時間	<b>『数</b>	56時間		週時間数		4時	寺間		
学習到	達目標	国内旅行業務取扱管理者試験(	こ合格できる実力	」を身に付ける。					
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期: 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。						期末試験の結			
授業外学習 の方法 授業内容の復習。課題が出された場合は			た場合は自宅に	て実施。					
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	<b>*</b>		
	1	導入		科目存在理由の説明					
	2	第1部 第1章 旅客営業規則の	)概要	用語の意義、原	則、契約、キロ数	めの端数、期間			
	3	第1部 第2章 乗車券類販売の	)概要	JRの乗車券類、	運賃と料金、年間	齡区分、発売日			
	4	第1部 第3章 運賃料金		原則、種類、特例	列、効力、割引				
	5	第1部 第4章 運賃料金		原則、種類、特例	列、効力、割引				
	6	第1部 第4章 料金計算		原則、乗継割引					
授 業	7	第1部 第5章 料金計算		乗継割引					
計	8	第1部 第6章 料金計算		山形新幹線•秋	田新幹線				
画	9	第1部 第7章 料金計算		九州新幹線					
前期	10	第1部 第6章 団体乗車券の取	双扱い	発売					
	11	第1部 第7章 団体乗車券の取	収扱い	割引、無賃扱い					
	12	第2部 第1章 航空券販売の概	要	航空会社、空港	コード、予約、有	効期間、運賃の	種類		
	13	第2部 第2章 運賃·料金等		航空券の運賃・	料金、割引運賃、	変更、取消、払	戻		
	14	第3部 第1章 社線		貸切バス					
	15	第3部 第2章 貸切バス・船・宿	<b>î</b> 泊	フェリー、宿泊					
	16	期末試験期末試験							
16   <sup>別木試験</sup>									

科	目名	国内観	光資源		指導担	!当者名	佐藤	宗	
実務	経験	j	旅行会社にて4年	F間従事した経歴			実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科1年		
授業	方法	講義:○	演	習:	実	習:	実持	支:	
時	間数	28時間		週時間数		2₽	寺間		
学習到	達目標	国内の観光地を楽しく学び、プレ	・ゼンテーションで	ける					
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、1点で評価している。 評価方法 評価基準 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4度する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。						期末試験の結			
使用教材 授業外学習 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。									
	外字省 方法	授業内容の復習。課題が出され	た場合は自宅に	て実施。					
学期	ターム	項目			Þ	R容・準備資料	等		
	17	オリエンテーション		オリエンテーショ	ン				
	18	発表準備	各エリアの中から	ら発表する地域	検討				
	19	発表準備		発表資料作成					
	20	発表準備		中間確認					
	21	発表準備		発表資料のブラ	ッシュアップ				
	22	発表準備		リハーサル					
授 業	23	発表		発表					
計	24	発表準備		各エリアの中から	ら発表する地域	検討			
画	25	発表準備		発表資料作成					
前期	26	発表準備		中間確認·発表	資料のブラッシ <i>=</i>	ェアップ			
	27	発表準備		リハーサル					
	28	発表		発表					
	29	期末試験案内等		期末試験案内等	<b>5</b>				
	30	期末試験		期末試験					
	31	期末試験フィードバック①		期末試験フィードバック①					
	32	期末試験フィードバック②		期末試験フィート	<b>ヾバック②</b>				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない									

科	目名	国内旅行業務耶	<b>双</b> 扱管理者対策		指導担	当者名	佐藤		
実務	系経験	ţ	旅行会社にて4年	F間従事した経歴			実務経験:	有	
開請	時期	前期		対象学	科学年		観光科1年		
授業	方法	講義:	演習	:O	実	習:	実持	<del></del> 支:	
時	間数	84時間		週時間数		2~3	O時間		
学習至	<b> 達目標</b>	国内旅行業務取扱管理者試験に	こ合格できる実力	で身に付ける。					
	ī方法 ī基準	学期末試験の実施及び実習成界点で評価している。 点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	美によって行われ 当試験を実施する (優)、B(70点	に、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	で授業実施の出版 で(60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結	
使用教材 JTB総合研究所 模擬試験、過去問題等 授業外学習 概念中央 (2.11) 2.12 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1									
	外学習 方法 ————	授業内容の復習。課題が出され	た場合は自宅に	て実施。					
学期	ターム	項目			内容-準備資料等				
	1	国家試験の解答ポイント		国家試験の解答ポイント					
	2	国家試験の解答ポイント		国家試験の解答ポイント					
	3	国家試験の解答ポイント		国家試験の解答	ポイント				
	4	国家試験の解答ポイント		国家試験の解答	ポイント				
	5	模擬試験·過去問題		模擬試験·過去	問題				
	6	模擬試験·過去問題		模擬試験•過去	問題				
授 業	7	模擬試験·過去問題		模擬試験•過去	問題				
計	8								
画	9								
前期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上	10								

科目	 ]名	観光英	語IA		指導担	当者名	平野	二美子		
実務	経験	ホテルおよび	び全国通訳案内	  士で通訳業務に	6年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	—————— 科学年		観光科1年	<u> </u>		
授業	方法	講義:◎		i:O	実	 習:	実	 技:		
時間	間数	32時間		週時間数		2時	<u></u> 持間			
学習到	達目標	観光英語検定試験2級·3級合格	に必要な実力の	養成(10月下旬)	)					
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には追 成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格として	によって行われ 試験を実施する (優)、B(70点	、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	で授業実施の出 に (60点~69点	第率80%以上を )(可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結		
使用教材 English for Tourism (Basic) / 観光英語検定試験頻出150項目 / 観光英語 授業外学習 の方法					観光英語過去	問題 / プリントな	ぼど			
の方法										
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	1	Unit 1 Travel Day 1		1 Vocabulary, 2	Conversation,	頻出150項目p.1	153~156			
	2	Unit 1 Travel Day 2		3 Listening, 4 Reading part1 & 2, Unit1 小テスト						
	3	Unit 1 Travel Day 3		5 Writing, 6 Role-play part1, 2 & 3,連休課題のチェック第37回						
	4	Unit 2 Jobs &People Day 1		1 Vocabulary, 2 Conveersation, 3 Listening, 小テスト課題から						
	5	Unit 2 Jobs &People Day 2		4 Reading, part	1,2 & 3,頻出15	0項目p.121~122.	、小テストUnit2			
	6	Unit 2 Jobs & People Day 3		5 Writing, 6 Pair	r work, part1 & 2	2, 過去問題第37	回 小テスト頻出			
授 業	7	Unit 3 Getting on the plane Day	, 1	1 Vocabulary, 2	Conversation, 3	Listening, 頻出 <sup>1</sup>	項目p.142~152			
計	8	Unit 3 Getting on the plane Day	, 2	4 Reading, 5 Wr	iting, 6 Role-pla	ay, 頻出項目p.14	12 <sup>~</sup> 152 小テスト	 U3		
画	9	Unit 3 Getting on the plane Day	3	頻出項目p.142~	152					
前期	10	Unit 4 At the Immigration and Cu	stoms Day 1	1 Vocabulary, 2	Conversation, p	art1&2, 頻出項目	p.122~140			
	11	Unit 4 At the Immigration and Cu	stoms Day 2	3 Reading, 4 Wri	ting,頻出項目p	.122 <sup>~</sup> 140, 小テス	くトUnit4			
	12	Unit 4 At the Immigration and Cu	stoms Day 3	5 Role-play, 頻b	出項目p.122~140	l				
	13	前期学習のまとめ		テキスト、頻出項	€目150					
	14	前期期末試験		1時限目:復習、	2時限目:試験					
	15	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	題を使い演習・	————— 解説				
	16	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問題を使い演習・解説						
履修上	の留意点									

科	目名	観光英	語 I B		指導担		平野 .	 二美子		
実務	経験	ホテルおよ	び全国通訳案内	士で通訳業務に			実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科1年			
授業	方法	講義:◎	演習	T:O	実	· 習:	実	 技:		
時	間数	32時間		週時間数		2時	· 時間			
学習到	達目標	出席率(10%)、授業態度(10%	6)、小テスト等(2	20%)、期末試馬	<b>倹(60%</b> )					
	i方法 i基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 規末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
	]教材  水学習	English for Tourism (Basic) / 観	光英語検定試験	¢頻出150項目 /	観光英語過去	問題 / プリントな	;ど 			
<u>の</u>	方法 <del></del>	な 項目 内容・準備資料等								
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	17									
	18	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問題を使い演習・解説						
	19	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問題を使い演習・解説						
	20	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	問題を使い演習・ ・	解説				
	21	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	問題を使い演習・	解説				
	22	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	問題を使い演習・	解説				
授 業	23	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	問題を使い演習・ ・	解説				
計	24									
画	25	Unit 5 Day 1 At the Airport		1 Vocabulary, 2	? Conversation, 3	B Listening, Wor	ds & Phrases			
後期	26	Unit 5 Day 2 At the Airport		4 Reading, 5 Wr	iting, 6 Role-play	/, 小テスト Unit	5			
	27	Unit 5 Day 3 At the Airport		頻出項目:空港	・飛行機編の復	習と道案内への対	对応p.229~.			
	28	過去問解析•頻出150項目		様々な場面での	専門的な用語や	言い回しを習得	する			
	29	過去問解析·頻出150項目		様々な場面での	専門的な用語や	ーニング 中言い回しを習得	:する			
	30	後期学習のまとめ		テキスト、頻出項	頁目150					
	31	学年末試験		1時限目:復習、	2時限目:試験					
	32	観光英語授業のまとめ		1年間の授業を振り返り、今後の学習の動機付けとする						
履修上の留意点										

		T		1			I		
	目名	国内旅行プラ				当者名		宗	
	経験		旅行会社にて4年		1		実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科1年		
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実	支:	
時間	間数	64時間		大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学					
学習到	達目標	旅行会社で必要となるプランニン	クプカを養う。						
	方法 基準	点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には近 成績評価は、A(80点~100点)	険によって行われ ≦試験を実施する ・(優)、B(70点・	、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	で授業実施の出席 で(60点~69点)	『率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結	
使用	使用教材 「業外学習」 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。								
	1学習 方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。							
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	1	オリエンテーション		オリエンテーション					
	2	日帰り研修に向けて		調査・研究					
	3								
	4	日帰り研修に向けて		調査・研究					
	5	日帰り研修に向けて		まとめたものを多	養表				
	6	研修旅行(台湾)に向けて		調査・研究					
授 業	7	研修旅行(台湾)に向けて		調査・研究					
計	8	研修旅行(台湾)に向けて		台湾·研修旅行					
画	9	研修旅行(台湾)に向けて		研修旅行(台湾)	まとめ				
前期	10	研修旅行(台湾)に向けて		研修旅行(台湾)	まとめ				
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上	優修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない								

科	目名	国内旅行プラ	ランニング I		指導担	当者名	佐藤	<del></del>		
実務	経験	ħ	を行会社にて4年	手間従事した経歴	<u> </u>		実務経験:	有		
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科1年			
授業	方法	講義:	演	習:	実習	':O	実技	支:		
時	間数	64時間		週時間数		2₽	寺間			
学習到	]達目標	旅行会社で必要となるプランニン	グカを養う。							
	ī方法 ī基準	学期末試験の実施及び実習成果点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には追成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格として	によって行われ 試験を実施する (優)、B(70点	ι、受験資格として る。 ~79点)(良)、(	で授業実施の出版 に(60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結		
使用	教材									
	外学習 方法	行った内容の復習。課題が出され	た場合は自宅	にて実施。						
学期	ターム	項目			内容•準備資料等					
	17									
	18	オリエンテーション								
	19	旅行関連知識		旅行業の魅力・やり甲斐						
	20	旅行関連知識		バス旅行の具体	:例					
	21	旅行関連知識		観光地·観光資	 原					
	22	旅行関連知識		時刻表						
授 業	23	旅行関連知識		添乗について						
計	24	旅行関連知識		旅行のパンフレ	ット					
画	25	プランニング		コース立案のポ	イント					
後 期	26	プランニング		プランニング体験	<b></b>					
	27	プランニング		発表準備						
	28	プランニング		発表						
	29	研修旅行プランニング		オリエンテーショ	ン					
	30	研修旅行プランニング		グループ分け・	目的地研究					
	31	研修旅行プランニング		プランニング						
	32	研修旅行プランニング		プランニング						
履修上	- 慢修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない									

科	目名	海外観	光資源		指導担	!当者名	熊田	芳子		
実務	経験	航驾	と会社および旅行	テ会社にて14年行	 <b></b> 走事		実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科1年			
授業	方法	講義∶○	演	習:	実	· 習:	実	技:		
時間	間数	18時間		週時間数		1₽	持間			
学習到	達目標	海外の地理、観光名所に興味を	持つ。地理検定	3級合格に必要な	な知識を身につい	ける。				
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成身点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	険によって行われ 追試験を実施する )(優)、B(70点	ι、受験資格として る。 ~79点)(良)、0	で授業実施の出 に(60点~69点	席率80%以上を )(可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結		
する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。  使用教材 海外観光資源 授業外学習 の方法 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。 <b>学期 ターム</b> 項目 内容・準備資料等										
		授業内容の復習。課題が出され	出された場合は自宅にて実施。							
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	17									
	18	オリエンテーション	オリエンテーショ	ン						
	19	海外観光資源		海外旅行の概要	5					
	20	海外観光資源		世界遺産						
	21	海外観光資源		海外のパンフレット/アジアの国						
	22	海外観光資源		中国						
授 業	23	海外観光資源		韓国						
計	24									
画	25	海外観光資源		台湾						
後 期	26	海外観光資源		シンガポール						
	27	海外観光資源		タイ						
	28	海外観光資源		ベトナム						
	29	海外観光資源		中央アジア						
	30	海外観光資源		中央アジア						
	31	期末試験		期末試験						
	32	期末試験フィードバック		期末試験フィー						
履修上	優修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない									

科目	目名	観光到	実務 I		指導担	当者名	佐藤	宗		
実務	経験	į	旅行会社にて4年	手間従事した経歴	<u>.</u>		実務経験:	有		
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科1年			
授業	方法	講義:	演 <sup>:</sup>	習:	実習	:O	実打	<b>支</b> :		
時間	間数	88時間		週時間数		2~4	4時間			
学習到	達目標	観光業に関わる知識を養うととも 福島県のサポート事業の企画・3								
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成身点で評価している。 規末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	食によって行われ 自試験を実施する )(優)、B(70点	し、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	で授業実施の出席 で(60点~69点)	『率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結		
使用教材 授業外学習 の方法 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。										
	—	業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。 項目 内容・準備資料等								
学期	ターム	項目			内容-準備資料等					
	1	オリエンテーション		オリエンテーション						
	2	休み		休み						
	3	平成30年度サポート事業		平成30年度サホ	ペート事業 振り返	<u>.</u> 9				
	4	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾) 旅行前説明会						
_	5	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)海外旅行保険案内						
	6	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	調査・研究					
授 業	7	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	調査・研究					
計	8	休み		休み						
画	9	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	まとめ					
前期	10	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	まとめ					
	11	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	報告会					
	12	2019年度サポート事業		アンケート作成						
	13	2019年度サポート事業		アンケート修正						
	14	2019年度サポート事業		アンケート分析・	研究					
	15	2019年度サポート事業		プランニング						
	16	2019年度サポート事業		プランニング						
履修上	慢修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない									

科	 ]名	観光実務	I		 指導担	 当者名	佐藤	 E 宗		
	経験	旅行	会社にて4年間従事	した経歴			実務経験:	有		
開講	時期	通年		対象学科	学年		観光科1年			
授業	方法	講義:	演習:		実習	:O	実	 技:		
時	間数	88時間	週時	間数		2~	4時間			
学習到	達目標	旅行会社で必要となるプランニング	力を養う。							
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100%点で評価している。 評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験評価基準 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階記する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							期末試験の結			
使用	使用教材									
授業外学習の方法										
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等			
	17									
	18	オリエンテーション	オリエン	テーション	,					
	19	2019年度サポート事業	モニター	ツアー募:	集					
	20	2019年度サポート事業	モニター	ツアー募	<b>集</b>					
	21	2019年度サポート事業	モニター	ツアー募	<del></del> 集					
	22	2019年度サポート事業	モニター	ツアー募	集∙準備					
授 業	23	2019年度サポート事業	モニター	ツアー募:	集∙準備					
計	24	2019年度サポート事業	モニター	ツアー募:	集∙準備					
画	25	2019年度サポート事業	モニター	ツアー募	集∙準備					
後期	26	2019年度サポート事業	モニター	ツアー募	集∙準備					
	27	2019年度サポート事業	モニター	ツアー最	終準備					
	28	2019年度サポート事業	モニター	ツアー実	施					
	29	2019年度サポート事業	モニター	ツアーま	Ŀめ					
	30	2019年度サポート事業	モニター	ツアーま	Ŀめ					
	31	2019年度サポート事業	モニター	ツアーま	Ŀめ					
32 2019年度サポート事業 モニターツアーまとめ										
履修上										

科目	名	Word	実習		指導担	当者名	高橋	幸代		
実務	経験	IT会社にて	インストラクター	業務に18年間従	事した経歴		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科1年			
授業	方法	講義:	演習	習:	実習	:O	実持	支:		
時間	引数	48時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	文書作成の基本的な編集機能、 Word 文書処理技能認定試験			細な操作方法を豊	学習します。				
評価		学期末試験の実施及び実習成身点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	検によって行われ 自試験を実施する )(優)、B(70点・	、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	授業実施の出席 (60点~69点)	    率80%以上を  (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結		
使用		Microsoft Word2016 クイックマン	スター基本編、Wo	ord 文書処理技	能認定試験 3級	· 問題集				
授業がの方		授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。								
学期	ターム	項目				容・準備資料	-			
	1	Chapter1 Wordの基本 Chapter2 文字の入力と編集の	基本操作	Wordの起動 Wordの画面構成 既存の又書を開く 画面の操作 画面の表示 モード Wordの終了、新規文書の作成 日本語入力システム 文字の入力と変換 単語の登録 文書の保存 文字の選択 文字列の編集とコピー・移動 操作 アシストの使い方						
	2	Chapter3 文書の編集		ページの書式設定 文字の書式設定 文字幅と文字間隔の設定 文字列の配置字下げと行間の設定 禁則処理 罫線と網かけ						
	3	Chapter4 文書の印刷		改ページの挿入 ヘッダーとフッターの設定 印刷イメージの確認方法 印刷の実						
	4	Chapter5 文書の作成					フォーマット/段落 クリックアンドタィ			
	5	Chapter6 表を使った文書の作品	戓	表の作成 表の	選択方法 表の絲	幕集 表の装飾				
授	6	Chapter7 図形や画像を使った。	∨ <del>=</del> (/)ΥΕΝ	図形の作成 図: アートの挿入	形の編集 画像の	)挿入 横書き	テキストボックスの	)挿入 ワード		
業	7	総合学習問題		問題実施後、解	答解説					
計 画	8	練習問題 練習問題1		問題実施後、解	 答解説					
前	9	練習問題 練習問題2		問題実施後、解	<b>答解説</b>					
期	10	練習問題 練習問題3		問題実施後、解	<b>答解説</b>					
	11	模擬問題 模擬問題1		問題実施後、解	答解説					
	12	模擬問題 模擬問題2		問題実施後、解	<b>答解説</b>					
	13	模擬問題 模擬問題3		問題実施後、解	<b>答解説</b>					
•	14	模擬問題 模擬問題4		問題実施後、解	<b>答解説</b>					
	15	模擬問題 模擬問題5		問題実施後、解	答解説					
	16	模擬問題 模擬問題6		問題実施後、解答解説						
	修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない									

科目	目名	プレゼンテーション実	習(PowerPoint2	2016)	指導担	当者名	太田	光則			
実務	経験				法を学び、 ようにするため、スライド作成能力とプレゼン実践力を身に付き目指す。						
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科1年	•			
授業	方法	講義:	演 <sup>:</sup>	習:	実習	':O	実	 技:			
時間	<b>『数</b>	28時間		週時間数		2時	<b>計</b> 間				
学習到	達目標	マイクロソフトPowerPoint操作方 ビジネスユースにあったプレゼン た、2月に行われる、「PowerPoir	テーションを自ら	ンを自ら実践出来るようにするため、スライド作成能力とプレゼン実践力を							
	方法 基準	点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試駅 果、必要と認められる場合には近 成績評価は、A(80点~100点)		0他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試成がする。 (70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階限に、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
使用	使用教材 PowerPoint 2016クイックマスター基本編、PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験問題集 授業外学習										
授業外学習 の方法 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。											
学期	ターム	項目		内容-準備資料等							
	17	プレゼンテーション概要		プレゼンテーショ	ョンの必要性 テ	キスト P1~P24					
	18	パワーポイントの基礎知識		パワーポイントの画面構成・操作 テキスト P25~P42							
	19	プレゼンテーション作成		スライドの作成方法 保存方法 他 テキスト P43~P54							
	20	プレゼンテーションの構成とデザ	イン 文字の編集	スライドの構成	文字表現 テキ	Fスト P56~P8	4				
	21	オブジェクトの作成		図形・表・クリップ	プアートの利用と	作成 テキスト	P85~P117				
	22	自己紹介 スライド作成実習		【自分オリジナル	レ】自己紹介スライ	バ作成 テキス	► P118				
授 業	23	表示効果とハイパーリンク		画面切り替え効	果とアニメーショ	ン テキスト P1	19~P136				
計	24	スライドショーの実行		スライドショーの	実行操作・自動	実行 テキスト	P137~P152				
画	25	自分の好きな場所 までの地図る	をスライドで作成	【自分オリジナル	レ】地図スライド	作成					
後 期	26	テーマカスタマイズ スマートアー		テーマのカスタマ	マイズ テキスト	P153~P182					
	27	グラフの追加・図の加工 プレゼ	ン動作設定	スライドへ図のi	追加 セクション記	没定等 テキスト	P183~P214				
	28	期末テスト									
	29	まとめ		期末テスト復習	検定試験対策問	問題 テキスト・問	 問題集				
	30	まとめ		検定試験対策問	問題 テキスト・問	題集					
	31	まとめ		検定試験対策問題 テキスト・問題集							
ŀ	32	まとめ		検定試験対策問題 テキスト・問題集							
履修上(		が80%に満たない場合は、期	-  末試験の受験	資格を与えなし	۸,						
1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		- , /u=v=3/、* / 人間/	IH C J / C O							

科	目名	英会訓	舌 I A		指導担	!当者名	Sean	Payne		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科1年	•		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:		
時	間数	32時間		週時間数		2日	寺間			
学習到	達目標	それぞれの現場設定シチュエー	ションにおいて会	₹話を進行できる	ようになる					
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成身点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 男、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	食によって行われ 自試験を実施する )(優)、B(70点	に、受験資格として る。 ~79点)(良)、0	て授業実施の出 C(60点~69点	席率80%以上を )(可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結		
使用	教材	WORL ENGLISH Intro SECOND	EDITION							
	朴学習 方法	授業内容の復習。課題が出され	た場合は自宅に	宅にて実施。						
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	1	UNIT1 Friends and Family		家族の紹介の仕	上方					
	2	UNIT2 Jobs Around the World		職業の種類						
	3	UNIT2 Jobs Around the World		職業の説明						
	4	UNIT3 Houses and Apartments		家のものの紹介	•					
	5	UNIT3 Houses and Apartments		家の説明						
	6	UNIT4 Possessions		持ち物の説明①	)					
授 業	7	UNIT4 Possessions		持ち物の説明②	)					
計	8	UNIT5 Daily Activities		時制						
画	9	UNIT5 Daily Activities		行動						
前 期	10	UNIT6 Getting There		道案内①						
	11	UNIT6 Getting There		道案内②						
	12	UNIT7 Free Time		今何をしているが	かの聞き方					
	13	UNIT7 Free Time		今何をしているが	かの聞き方(電記	į)				
	14	UNIT8 Clothes		Can/Could (丁	寧な要求の仕方	.)				
	15	UNIT8 Clothes		Could you						
	16	UNIT9 Eat Well		Some and Any						
履修上	の留意点 出席率	え 気 が80%に満たない場合は、期	<del>-</del>  末試験の受験	資格を与えない	,					

科	目名	英会訓	括 IB		指導担	!当者名	Sean	Payne						
実務	経験						実務経験:							
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科1年							
授業	方法	講義∶○	演	習:	実	· 習:	実	技:						
時	間数	32時間		週時間数		2時	<b>持間</b>							
学習到	達目標	それぞれの現場設定シチュエー	ションにおいて会	₹話を進行できる	ようになる									
	方法基準	点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点	期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価と する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。											
使用	教材	WORL ENGLISH Intro SECOND	EDITION											
授業外学習 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅に			て実施。											
学期	ターム	項目			内容·準備資料等									
	17	UNIT9 Eat Well		And										
	18	UNIT10 Health		一般動詞①										
	19	UNIT10 Health		一般動詞②										
	20	UNIT11 Making Plans		Be going to										
	21	UNIT11 Making Plans		Be going to (短網	宿形)									
	22	UNIT12 On The Move		過去形①										
授 業	23	UNIT12 On The Move		過去形②										
計	24	UNIT1 Friends and Family		自己紹介										
画	25	UNIT1 Friends and Family		家族の紹介の仕	方									
後 期	26	UNIT2 Jobs Around the World		職業の種類 復	習									
	27	UNIT2 Jobs Around the World		職業の説明 復	 習									
	28	UNIT3 Houses and Apartments		家のものの紹介	· 復習									
	29													
	30													
	31													
	32													
履修上			<del>-</del> ]末試験の受験	資格を与えない	, \			覆修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない						

科目	1名	ホテル第	<b>美界研究</b>		指導担	当者名	遠藤	紀子	
実務	経験			•			実務経験:		
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科1年		
授業	方法	講義:	演習	<b>3</b> :0	実	習:	実	技:	
時間	引数	28時間		週時間数		2₿	寺間		
学習到	達目標	日本国内、および世界のホテル・ ハード、ソフト面の特徴をとらえる		今求められてい	るホテルのサー	ビスの在り方や			
評価評価	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成界点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	検によって行われ 自試験を実施する ) (優)、B(70点	い、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	で授業実施の出版 に(60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結	
使用	教材	HP、ホテル資料、ホテル旅館							
授業を	↑学習 5法	授業内容の復習。課題が出され	された場合は自宅にて実施。						
学期	ターム	項目			内容-準備資料等				
	17	ホテルの分類・近年のホテル業績	<b>界</b>	説明					
	18	福島県内宿泊施設と観光スポッ	トの提案	プレゼン用宿泊施設の決定					
	19	各自特徴のあるホテルについて	調べまとめる	インターネット、雑誌、文献を調べる					
	20	プレゼン資料作成		インターネット、雑誌、文献を調べる					
	21	プレゼン資料作成		インターネット、ネ	雑誌、文献を調べ	<b></b> る			
	22	プレゼン資料作成		インターネット、ネ	雑誌、文献を調べ	<b></b> る			
授 業	23	プレゼン資料作成		発表練習					
計	24	発表		各自5分程度でき	発表する、発表内		, ラッシュアップ		
画	25	日本国内宿泊施設と観光スポッ	トの提案	各自研究					
後期	26	日本国内宿泊施設と観光スポッ	トの提案	パワーポイントに	て作成				
	27	日本国内宿泊施設と観光スポッ	トの提案	パワーポイントに	て作成				
	28	日本国内宿泊施設と観光スポッ	トの提案	パワーポイントに	て作成				
	29	日本国内宿泊施設と観光スポッ		パワーポイントに	て作成				
	30	日本国内宿泊施設と観光スポッ	トの提案	各自5分程度で	発表する				
	31	前期試験							
	32	発表		各自発表・まとめ					
履修上(		」 気 が80%に満たない場合は、期	_  末試験の受験	  資格を与えなし	١				

科目	 目名	イベント運営す	€習	指導担	 当者名	佐藤	宗
実務	経験	旅行会	会社にて4年間従事した経歴	<del>!</del> 陸		実務経験:	有
開講	時期	後期	対象学	4科学年		<del> </del> 観光科1年	
授業	方法	講義:	演習:	実習	:O	実技	<del></del> 支 :
時間	間数	28時間	週時間数		2	時間	
学習到	達目標	卒研プレゼン大会の企画運営を通し、	イベントの企画力・運営力	・チームワークカヤ	を養う。		
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果の記点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によ 果、必要と認められる場合には追試 成績評価は、A(80点~100点)(優) する。A、B、Cの評価は合格として単位	って行われ、受験資格とし を実施する。 、B(70点~79点)(良)、	て授業実施の出版 C(60点~69点)	第率80%以上 (可)、D(0点	を要件としている。	期末試験の結
使用教材							
	小学習 方法	授業内容の復習。課題が出された場合	の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。				
学期	ターム	項目		内	容∙準備資料	等	
	17	オリエンテーション	導入・動機付け				
	18	イベント運営の下準備	MICEとは?				
	19	イベント運営の下準備	昨年の卒研プレ	·ゼン大会の映像	<u></u> 鑑賞		
	20	卒研プレゼン大会企画準備	代表決め、企画	፬・運営チーム分け	+		
	21	卒研プレゼン大会企画準備	企画コンセプト	<b>倹討</b>			
	22	卒研プレゼン大会企画準備	企画スケジュー	・ル検討(全体)			
授 業	23	卒研プレゼン大会企画準備	企画スケジュー	・ル検討(各チーム	)		
					,		
計	24	卒研プレゼン大会企画準備	卒研プレゼン大		,		
画	24 25	卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備	卒研プレゼン大 卒研プレゼン大	会 準備	,		
				会 準備	,		
画後	25	卒研プレゼン大会企画準備	卒研プレゼン大	会 準備	,		
画後	25 26	卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備	卒研プレゼン大中間報告会	会 準備	,		
画後	25 26 27	卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備	卒研プレゼン大 中間報告会 卒研プレゼン大	会 準備 会 準備 会 準備	,		
画後	25 26 27 28	卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備	卒研プレゼン大         中間報告会         卒研プレゼン大         卒研プレゼン大         卒研プレゼン大	会 準備 会 準備 会 準備	,		
画後	25 26 27 28 29	卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備	卒研プレゼン大 中間報告会 卒研プレゼン大 卒研プレゼン大 卒研プレゼン大	会 準備 会 準備 会 準備	,		
画後	25 26 27 28 29 30 31 32	卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備 卒研プレゼン大会企画準備	卒研プレゼン大 中間報告会 卒研プレゼン大 卒研プレゼン大 卒研プレゼン大	<ul><li>会準備</li><li>会準備</li><li>会準備</li><li>会準備</li><li>会準備</li><li>会準備</li><li>会 単価</li><li>会 リハーサル</li></ul>	,		

科目	 ]名	卒業	 ·研究		指導担	 当者名	佐藤		
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科2年	ļ	
授業	方法	講義:	演	 習:	実習	:O	実	 技:	
時間	間数	48時間		週時間数		38	寺間		
学習到	達目標	2年間の集大成を卒業研究として	ご研究し、まとめる	5.					
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成り点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	験によって行われ 追試験を実施する )(優)、B(70点	、受験資格として る。 ~79点)(良)、(	て授業実施の出席 C(60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	を要件としている。	期末試験の結	
使用	教材								
授業がのフ	小学習 方法								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等		
	17	オリエンテーション		オリエンテーショ	ン				
	18	以前までのプレゼン資料を参考		昨年の卒業研究のプレゼン資料					
	19	以前までのプレゼン資料を参考		一昨年の卒業研	T究のプレゼン資	料			
	20	内容検討		研究テーマ検討					
	21	内容検討		研究スケジュー	ル検討				
	22	調査·研究		各学生のテーマ	に合わせた調査	▪研究			
授 業	23	調査·研究		フィードバック					
計	24	調査・研究		各学生のテーマ	に合わせた調査	·研究			
画	25	調査·研究		フィードバック					
後期	26	卒業研究の発表準備		中間報告					
	27	卒業研究の発表準備		プレゼン資料の	作りこみ				
	28	卒業研究の発表準備		プレゼン資料の	作りこみ				
	29	卒業研究の発表準備		リハーサル					
	30	発表		卒業研究の発表	ŧ				
	31	卒研プレゼン大会への準備		卒研プレゼン大	会への準備				
	32	卒研プレゼン大会		卒研プレゼン大会					
履修上(		。 が80%に満たない場合は、期	-  士計験の巫殿	咨抜た ヒラナー	`				
1	山市平	// UU /UI〜/叫/〜/みり *勿 口 l よ、舟	」ノトロハ河ス Vノ 文 前火	タロとサんない	, -				

科目	1名	キャリア	プラン I		指導担	当者名	遠藤	紀子	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科2年		
授業	方法	講義:◎	演	習.	実習	1:0	実	技:	
時間	引数	80時間		週時間数		2時	観光科2年 実技: 2時間 是出状況などを点数配分し、100点流 6以上を要件としている。期末試験の 0(0点~59点)(不可)、の4段階評価する。		
学習到	達目標	・社会人として必要な心構えとビ・就職活動に向けて各自の目標		<b>習得</b>					
評価評価	方法 基準	点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には過	食によって行われ は試験を実施する (優)、B(70点・	、受験資格として る。 ~79点)(良)、0	で授業実施の出 に (60点~69点	第率80%以上を )(可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結	
使用教材 面接対策&ビジネスマナーのテキスト、iPad、プリント 授業外学習 課題プリントで自主学習									
の方法									
学期	ターム	項目			内容-準備資料等				
	1	就職支援について		就職支援システ	ム、申請書発行	サービスの使用	 方法		
	2	就職活動準備		就職活動スケジュールについて考える					
	3	就職活動準備		企業研究					
	4	グループディスカッション		グループディスス	bッションについ <sup>・</sup>	<b>C</b>			
	5	グループディスカッション		グループディスス	ウッションの実践				
	6	他己紹介		2人組でインタビ	<b></b>				
授 業	7	他己紹介		プレゼン資料の	作成				
計	8	他己紹介		プレゼン資料の	作成				
画	9	他己紹介		発表					
前 期	10	他己紹介		振り返り					
	11	企業訪問		注意すること					
	12	ビジネス文書		ビジネス文書の	書き方				
	13	ビジネス文書		実践					
	14	礼状		礼状の書き方					
	15	礼状		実践					
	16	前期のまとめ		総復習					
履修上(	10   10   10   10   10   10   10   10								

科目	1名	キャリア	プラン II		指導担	当者名	遠藤	紀子
実務	経験						実務経験:	無
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科2年	
授業	方法	講義:◎	演	習:	実習	1:0	実担	支:
時間	引数	80時間		週時間数		2周	<b>持間</b>	
学習到	達目標	・社会人として必要な心構えとビ・就職活動に向けて各自の目標:		<b>習得</b>				
評価評価		学期末試験の実施及び実習成界点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には近成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	検によって行われ ≜試験を実施する )(優)、B(70点	、受験資格として る。 ~79点)(良)、(	て授業実施の出版 C(60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結
使用	教材	面接対策&ビジネスマナーのテ	キスト、プレゼン・	テーション技法、	iPad、プリント			
授業外学習 の方法 課題プリントで自主学習								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等	
	17	電話応対		電話応対の仕方	を学ぶ			
	18	電話応対		実践				
	19	電話応対		実践				
	20	立ち居振る舞い		来客者への対応	の仕方を学ぶ			
	21	立ち居振る舞い		実践				
	22	プレゼンテーションツールの技術	i	プレゼンテーショ	ョンとは			
授 業	23	プレゼンテーションツールの技術	÷	プレゼンテーショ	ョンツールの種類	き効果		
計	24	プレゼンテーションツールの技術	i	プレゼンテーショ	ョンツール作成の	基礎知識		
画	25	プレゼンテーションツールの技術	ŧ	プレゼンテーショ	ョンツール作成の	基礎知識		
後 期	26	ビジネスコミュニケーションの技術	析	ビジネスコミュニ	ケーションの必要	要性		
	27	ビジネスコミュニケーションの技術	析	ビジネスコミュニ	ケーションの種类	頁		
	28	ビジネスコミュニケーションの技術	析	ビジネスのホウ	レンソウとは			
	29	期末試験		期末試験				
	30	論理的思考の基礎		論理的思考·表	現の訓練			
	31	論理的思考の基礎		論理的思考•表	現の訓練			
	32	論理的思考の基礎		論理的思考•表	現の訓練			
履修上(		ī が80%に満たない場合は、期	ー  末試験の受験	資格を与えない	,1			

科目	目名	海外観光	資源		指導担	当者名	熊田	芳子	
実務	経験	航空氣	会社および旅行	テ会社にて14年徒	送事		実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科2年	,	
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:	
時間	<b></b>	63時間		週時間数		3周	持間		
学習到	達目標	総合旅行業務取扱管理者試験の合	合格する為のタ	知識を身につける	ò.				
評価評価		学期末試験の実施及び実習成果の点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験! 果、必要と認められる場合には追 成績評価は、A(80点~100点)( する。A、B、Cの評価は合格として	こよって行われ 試験を実施する 優)、B(70点	ι、受験資格として る。 ~79点)(良).(	て授業実施の出版 C(60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結	
使用	教材	ーCANテキスト							
授業外学習の方法									
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	アジア		シンガポール・マレーシア					
	2	アジア		インドネシア・カンボジア					
	3	アジア		インド・ネパール	,				
	4	アジア		ブータン・スリラン	ンカ				
	5	ヨーロッパ		イギリス					
	6	ヨーロッパ		ベルギー・オラン	ノダ				
授 業	7	ヨーロッパ		ノルウェー・スウ	ェーデン・フィンラ	ランド			
計	8	ヨーロッパ		デンマーク・ドイ	ツ				
画	9	ヨーロッパ		スイス・オースト	リア				
前 期	10	ヨーロッパ		フランス					
	11	ヨーロッパ		イタリア・スペイン	 ン				
	12	ヨーロッパ		ポルトガル・ギリ	シャ・チェコ				
	13	ヨーロッパ		ハンガリー・ロシ	ア				
	14	南北アメリカ		アメリカ					
	15	南北アメリカ		期末試験				-	
	16	南北アメリカ		カナダ					
履修上(	16   南北アメリカ   カナダ 修上の留意点								

科目	目名	海外観	光資源		指導担	当者名	熊田	芳子
実務	経験	航空	 ☑会社および旅行		事		実務経験:	有
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科2年	
授業	方法	講義:	演	習:		習:	実	技:
時間	間数	63時間		週時間数		3₽	寺間	
学習到	達目標	総合旅行業務取扱管理者試験 <i>0</i>	)合格する為の気	田識を身につける	0			
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成身点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には近成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格とし	検によって行われ ≜試験を実施する )(優)、B(70点	、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	「授業実施の出版 (60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結
	教材     大学習	U-CANテキスト						
	75子日 方法							
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等	
	17	オリエンテーション		オリエンテーショ	ン			
	18	総合対策		模擬試験等				
	19	総合対策		模擬試験等				
	20	総合対策		模擬試験等				
	21	総合対策		模擬試験等				
	22							
授 業	23							
計	24							
画	25							
後 期	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
	31							
	32							
履修上	の留意点	A. A	_					

科目	3名	海外旅	 行実務		指導担	 当者名	佐藤			
実務	経験	į,	旅行会社にて4年	F間従事した経歴	<u> </u>		実務経験:	有		
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科2年			
授業	方法	講義:〇	演	習:	実習	3:	実	技:		
時間	間数	21時間		週時間数		1₿	寺間			
学習到	達目標	総合旅行業務取扱管理者試験の	)合格する為の気	田識を身につける	00					
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成界点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には近成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	検によって行われ ≜試験を実施する )(優)、B(70点・	、受験資格として る。 ~79点)(良)、0	で授業実施の出席 で(60点~69点)	『率80%以上を (可)、D(0点~	そ要件としている。	期末試験の結		
成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。         使用教材       UーCANテキスト         授業外学習の方法       内容・準備資料等										
学期	ターム	項目			内容・準備資料等					
	1	オリエンテーション		オリエンテーショ	ン					
	2	海外旅行実務		時差とは						
	3									
	4	海外旅行実務		時差の計算						
	5	海外旅行実務		時差の計算						
	6	海外旅行実務		飛行所要時間						
授 業	7	海外旅行実務		飛行所要時間						
計	8	海外旅行実務		мст						
画	9	海外旅行実務		мст						
前 期	10	海外旅行実務		мст						
	11	海外旅行実務		クルーズ						
	12	海外旅行実務		ホテル						
	13	海外旅行実務		鉄道						
	14	海外旅行実務		海外旅行保険						
	15									
	16									
履修上	10    修上の留意点   出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない									

# 授業計画(シラバス)(改定案)

科目	1名	海外旅	行実務		指導担当者名	佐藤	宗	
実務	経験	ħ	旅行会社にて4年	F間従事した経歴		実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	観光科2年		
授業	方法	講義:○	演	習:	実習:	実技	支:	
時間	引数	21時間		週時間数	1	観光科2年 実技: 時間 現などを点数配分し、100点満 主要件としている。期末試験の系 ~59点)(不可)、の4段階評価		
学習到	達目標	研修旅行の準備・手配・企画運営福島県のサポート事業の企画・近	まを行なうとともに 星営を行なう。	Ξ,				
評価評価	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成界点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格とし	によって行われ a試験を実施する (優)、B(70点・	.、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	授業実施の出席率80%以上 (60点~69点)(可)、D(0点	を要件としている。	期末試験の結	
使用教材 授業外学習 の方法								
	—							
学期	ターム	項目			内容·準備資料	等		
	17	リエンテーション						
	18	総合対策		模擬試験等				
	19	総合対策		模擬試験等				
	20	総合対策		模擬試験等				
	21	総合対策		模擬試験等				
	22							
授 業	23							
計	24							
画	25							
後 期	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
	31							
	32							
履修上(	レ の留意点 出席率:	【 が80%に満たない場合は、期	末試験の受験	資格を与えない	`			

科	 ]名	出入国			 指導担当	 i者名	熊田	 芳子	
実務	経験	航空	全会社および旅行	テ会社にて14年行	 É事		実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科2年		
授業	方法	講義∶○	演	필:	実習	:	実技	支:	
時	間数	21時間		週時間数		1₽	持間		
学習到	達目標	旅行会社での業務の基礎知識を	身につける。						
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には追成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格として	(によって行われ は試験を実施する (優)、B(70点・	、受験資格として う。 ~79点)(良)、0	て授業実施の出席。 C(60点~69点)(	率80%以上を 可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結	
使用	教材	UーCANテキスト							
	朴学習 方法								
学期	ターム	項目			内容	字•準備資料	<b>等</b>		
	1	出入国法令と実務		旅券法					
	2	出入国法令と実務		旅券法					
	3	出入国法令と実務		旅券法					
	4	出入国法令と実務		旅券法					
	5	出入国法令と実務		査証手続き					
	6	出入国法令と実務		渡航手続き					
授 業	7	出入国法令と実務		渡航手続き					
計	8	出入国法令と実務		渡航手続き					
画	9	出入国法令と実務		税関手続き					
前期	10	出入国法令と実務		税関手続き					
	11	出入国法令と実務		税関手続き					
	12	出入国法令と実務		税関手続き					
	13	出入国法令と実務		外国人再入国手	- 続き				
	14	出入国法令と実務		外国人再入国手	- -続き				
	15	出入国法令と実務		期末試験					
	16	出入国法令と実務		予備日					
履修上	多上の留意点								

科目	1名	出入国	退法令		指導担当	者名	熊田	芳子	
実務	経験	航空	全会社および旅行	テ会社にて14年位	事		実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年		観光科 2年		
授業	方法	講義∶○	演	習: 当:	実習	:	実技	支:	
時間	引数	21時間		週時間数		1	持間		
学習到	達目標	旅行会社での業務の基礎知識を	身につける。						
		学期末試験の実施及び実習成界点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格とし	食によって行われ ≜試験を実施する (優)、B(70点・	、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	「授業実施の出席 <sup>図</sup> (60点~69点)(『	率80%以上を 可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結	
		UーCANテキスト							
学期	ターム	項目			内容	* 準備資料	等		
評価方 評価基 使用教 授業外等	17	オリエンテーション		オリエンテーション					
	18	総合対策		総合対策					
	19	総合対策		総合対策					
	20	総合対策		総合対策					
	21	総合対策		総合対策					
	22								
授 <del>業</del>	23								
計	24								
	25								
後 期	26								
	27								
	28								
	29								
	30								
	31								
	32								
履修上(	の留意点	Ţ.							

科目	1名	観光英語	吾ⅡA		指導担当者名	平野 .	二美子		
実務	経験	ホテルおよび	全国通訳案内	士で通訳業務に	6年間従事	実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	観光科2年			
授業	方法	講義:◎	演習	i:O	実習:	実	支:		
時間	引数	32時間		週時間数		2時間			
学習到	達目標	観光英語検定試験2級・3級合格に	□必要な実力の	養成(10月下旬)					
評価評価	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には追成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格として	によって行われ 試験を実施する (優)、B(70点・	、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	授業実施の出席率80%以上 (60点~69点)(可)、D(O点	上を要件としている。 貳~59点)(不可)、(	期末試験の結		
使用	教材	English for Tourism (Basic) / 観分	光英語検定試験	6頻出150項目 /	観光英語過去問題 / プリン	トなど			
授業を									
学期	ターム	項目			内容·準備資料等				
	1	Unit 1 Travel Day 1		1 Vocabulary, 2	Conversation,頻出150項目	p.153~156			
	2	Unit 1 Travel Day 2		3 Listening, 4 Reading part1 & 2, Unit1 小テスト					
	3	Unit 1 Travel Day 3		5 Writing, 6 Role-play part1, 2 & 3,連休課題のチェック第37回					
	4	Unit 2 Jobs &People Day 1		1 Vocabulary, 2 Conveersation, 3 Listening, 小テスト課題から					
	5	Unit 2 Jobs &People Day 2		4 Reading, part 1	,2 & 3,頻出150項目p.121~1	22、小テストUnit2			
	6	Unit 2 Jobs & People Day 3		5 Writing, 6 Pair	work, part1 & 2, 過去問題第	37回 小テスト頻出			
授 業	7	Unit 3 Getting on the plane Day	1	1 Vocabulary, 2	Conversation, 3 Listening, 頻	出項目p.142~152			
計	8	Unit 3 Getting on the plane Day	2	4 Reading, 5 Wr	iting, 6 Role-play, 頻出項目p	o.142~152 小テスト	J3		
画	9	Unit 3 Getting on the plane Day 3	3	頻出項目p.142 <sup>~</sup>	152				
前 期	10	Unit 4 At the Immigration and Cus	stoms Day 1	1 Vocabulary, 2	Conversation, part1&2, 頻出』	頁目p.122~140			
	11	Unit 4 At the Immigration and Cus	stoms Day 2	3 Reading, 4 Writ	ting,頻出項目p.122~140, 小-	テストUnit4			
	12	Unit 4 At the Immigration and Cus	stoms Day 3	5 Role-play, 頻出	岀項目p.122 <sup>~</sup> 140				
	13	前期学習のまとめ		テキスト、頻出項	[目150				
	14	前期期末試験		1時限目:復習、	2時限目:試験				
	15	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	題を使い演習・解説				
	16	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	題を使い演習・解説				
履修上(	修上の留意点								

科	 ]名	観光英語	EIB				平野 :	 二美子	
実務	経験	ホテルおよび	全国通訳案内	 士で通訳業務に	6年間従事		実務経験:	—————— 有	
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科2年		
授業	方法	講義:◎		':O	<del></del>	<u>'</u> :	実持	<del></del> 支:	
時	間数	46時間		週時間数		2時	実務経験: 有 観光科2年 実技: 時間 実技: 時間 アスなどを点数配分し、100点にを要件としている。期末試験の~59点)(不可)、の4段階評価など		
学習到	達目標	出席率(10%)、授業態度(10%)	、小テスト等(2	20%)、期末試懸	<b>€</b> (60%)				
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には追認 成績評価は、A(80点~100点)( する。A、B、Cの評価は合格として	こよって行われ 試験を実施する 優)、B(70点・	、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	で で で で (60点~69点)(	率80%以上を (可)、D(O点~	要件としている。	期末試験の結	
	教材     大学習	English for Tourism (Basic) / 観光	<b>光英語検定試</b> 騎	·頻出150項目 /	観光英語過去問	題 / プリントな	ぼど		
	方法								
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	<b>等</b>		
	17								
	18	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問題を使い演習・解説					
	19	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問題を使い演習・解説					
	20	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	題を使い演習・解	説			
	21	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	題を使い演習・解	説			
	22	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	題を使い演習・解	説			
授 業	23	観光英語検定試験対策		小テスト・過去問	題を使い演習・解	!説			
計	24								
画	25	Unit 5 Day 1 At the Airport		1 Vocabulary, 2	Conversation, 3 I	Listening, Wor	ds & Phrases		
後期	26	Unit 5 Day 2 At the Airport		4 Reading, 5 Wri	ting, 6 Role-play,	小テスト Unit	. 5		
	27	Unit 5 Day 3 At the Airport			飛行機編の復習	と道案内への	対応p.229~.		
	28	過去問解析•頻出150項目		様々な場面での	専門的な用語や記	言い回しを習得	する		
	29	過去問解析•頻出150項目		様々な場面での	専門的な用語や記	言い回しを習得	:する		
	30	後期学習のまとめ		テキスト、頻出項	[目150				
	31	学年末試験		1時限目:復習、	2時限目:試験				
	32	観光英語授業のまとめ		1年間の授業を担	展り返り、今後の学	学習の動機付け	けとする		
履修上の留意点									

科目	3名	国内旅行プラ	シニング II A		指導担当	 á者名	佐藤	<del></del> 宗
実務	経験	į.	旅行会社にて4年	年間従事した経歴	<u> </u>		実務経験:	有
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科2年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習:	0	実持	<del></del> 支:
時間	間数	72時間		週時間数		6₽	持間	
学習到	達目標	研修旅行の準備・手配・企画運営福島県のサポート事業の企画・近						
	方法 基準	点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試駅 果、必要と認められる場合には近 成績評価は、A(80点~100点)	施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、10。 試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末記 れる場合には追試験を実施する。 30点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段阿爾は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。					期末試験の結
使用	教材							
	小学習 方法							
学期	ターム	項目			内容	容•準備資料	*	
	1	オリエンテーション		オリエンテーション				
	2	研修旅行		研修旅行の内容振り返り・コースの見直し				
	3	研修旅行		研修旅行の内容	『振り返り・コースの	り見直し		
	4	研修旅行		研修旅行•旅行	前説明会準備			
	5	研修旅行		研修旅行•旅行	前説明会準備			
	6	研修旅行		研修旅行 添乗	準備			
授 業	7	研修旅行		研修旅行 添乗	 準備			
計	8	研修旅行		研修旅行実施				
画	9	研修旅行		研修旅行のまと	め			
前 期	10	研修旅行		研修旅行のまと	め			
	11	研修旅行		研修旅行 報告	<del></del>			
	12	2019年度サポート事業 プランニ	ング	2019年度サポー	ト事業 プランニン	ノグ		
	13	2019年度サポート事業 プランニ	ング	2019年度サポー	-ト事業 プランニン	ノグ		
	14	2019年度サポート事業 プランニ	ング	2019年度サポー	-ト事業 プランニン	ノグ		
	15	2019年度サポート事業 プランニ	ング	2019年度サポー	-ト事業 プランニン	ノグ		
	16	2019年度サポート事業 プランニ	ング	2019年度サポー	ト事業 プランニン	ノグ		
履修上	夏修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない							

科目	 ]名	国内旅行プラ	ンニング <b>I</b> B		指導担	当者名	佐藤		
実務	経験	j:	旅行会社にて4年	 F間従事した経歴			実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科1年		
授業	方法	講義:	演	習:	<del></del>	:O	実技	 支:	
時間	間数	72時間		週時間数		6₽	寺間		
学習到	達目標	研修旅行の準備・手配・企画運営 福島県のサポート事業の企画・選		Ξ.,					
	方法 基準	点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には追 成績評価は、A(80点~100点)	施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分した。 試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期 れる場合には追試験を実施する。 80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4 評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。				期末試験の結		
使用	教材								
	1学習 方法								
学期	ターム	項目			内	容·準備資料	等		
	17	オリエンテーション		オリエンテーショ	ン				
	18	2019年度サポート事業	モニターツアー募集						
	19	2019年度サポート事業		モニターツアー	<b>事集</b>				
	20	2019年度サポート事業		モニターツアー	<b>事集</b>				
	21	2019年度サポート事業		モニターツアー	集				
	22	2019年度サポート事業		モニターツアー	<b></b> ・ 準備				
授 業	23	2019年度サポート事業		モニターツアー	<b>享集∙準備</b>				
計	24	2019年度サポート事業		モニターツアー	<b>享集・</b> 準備				
画	25	2019年度サポート事業		モニターツアー身	<b>募集∙準備</b>				
後期	26	2019年度サポート事業		モニターツアー身	<b>享集・準備</b>				
	27	2019年度サポート事業		モニターツアー最	<b>是終準備</b>				
	28	2019年度サポート事業		モニターツアー写	<b>旱施</b>				
	29	研修旅行プランニング		オリエンテーショ	ン				
	30	研修旅行プランニング		グループ分け・目	目的地研究				
	31	研修旅行プランニング		プランニング					
	32	研修旅行プランニング		プランニング					
履修上	D の留意点 出席率	」 記 が80%に満たない場合は、期	 末試験の受験	資格を与えない	١				

科目	目名	国内旅行プラ	ランニング II B		指導担	当者名	佐藤	宗
実務	経験	ţ	旅行会社にて4年	F間従事した経歴	Ē		実務経験:	有
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科1年	
授業	方法	講義:	演 <sup>:</sup>	習:	実習	:O	実	技:
時間	間数	56時間		週時間数		6₽	観光科1年 実技: 6時間 出状況などを点数配分し、100点 以上を要件としている。期末試験 0点~59点)(不可)、の4段階記 る。	
学習到	達目標	研修旅行の準備・手配・企画運営 福島県のサポート事業の企画・近		Ξ,				
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成身点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 果、必要と認められる場合には近成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	検によって行われ 自試験を実施する ) (優)、B(70点	し、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	て授業実施の出席 C(60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結
使用	l教材							
	朴学習 方法							
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	<del>等</del>	
	17	オリエンテーション		オリエンテーショ	レ			
	18	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集			
	19	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集			
	20	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集			
	21	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集			
	22	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集•準備			
授 業	23	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集∙準備			
計	24	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集∙準備			
画	25	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集•準備			
後 期	26	2019年度サポート事業		モニターツアー	募集•準備			
	27	2019年度サポート事業		モニターツアー最	<b>最終準備</b>			
	28	2019年度サポート事業		モニターツアーミ	実施			
	29	研修旅行プランニング		オリエンテーショ	ン			
	30	研修旅行プランニング		グループ分け・	目的地研究			
	31	研修旅行プランニング		プランニング				
	32	研修旅行プランニング		プランニング				
履修上	の留意点 出席率	え 気 が80%に満たない場合は、期	<del>-</del>  末試験の受験	- :資格を与えない	N			

科	目名	海外旅行プ	ランニング		指導担	当者名	佐藤	宗
実務	経験	ħ	旅行会社にて4年	F間従事した経歴	<u> </u>		実務経験:	有
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科2年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実打	 支:
時	間数	50時間		週時間数		38	寺間	
学習到	達目標	海外研修の下準備を行なうととも	に、オプショナル	レツアーの提案の	)チラシや旅行の	しおりの作成を	行なう	
使用	方法 基準  教材  学	学期末試験の実施及び実習成果点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には追成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格として	によって行われ 試験を実施する (優), B(70点	、受験資格として る。 ~79点)(良),(	て授業実施の出席 C(60点~69点)	第率80%以上を	要件としている。	期末試験の結
	方法 					rdn 24t htt 14r del	Adr	
学期	ターム	項目		1.1.		容∙準備資料	<del></del>	
	17	オリエンテーション		オリエンテーション				
	18	海外研修準備			ショナルツァー0.	) 提条のナフン1	作风	
	19	海外研修準備		試し刷り・調整				
	20	海外研修準備		完成				
	21	海外研修準備		海外研修のしお				
授	22	海外研修準備		海外研修のしお	り作成			
業	23	海外研修準備		中間まとめ				
計 画	24	海外研修準備 		試し刷り・調整				
後	25	海外研修準備		完成				
期	26	海外研修先の調査・研究		地理•歴史•観光	<del>.</del>			
	27	海外研修先の調査・研究		アクティビティ				
	28	海外研修先の調査・研究		グルメ・お土産				
	29	理想の海外旅行のプランニング		既存のパンフレ	ット研究			
	30	理想の海外旅行のプランニング		プランニング先の	の決定			
	31	理想の海外旅行のプランニング		プランニング先の	の決定			
	32	理想の海外旅行のプランニング		発表				
履修上	の留意点	<u> </u>						

科	■ 名	観光実	務ⅡA		指導担	 当者名	佐藤	宗
実務	経験	į	旅行会社にて4年	F間従事した経歴	<u> </u>		実務経験:	有
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科2年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実	 技:
時	間数	56時間		週時間数		28	寺間	
学習到	達目標	観光業に関わる知識を養うととも 福島県のサポート事業の企画・近	に、 軍営を行なう。					
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、点で評価している。 評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期: 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4 する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。				期末試験の結				
使用	教材							
	朴学習 方法							
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等	
	1	オリエンテーション		オリエンテーショ	ン			
	2							
	3	平成30年度サポート事業		平成30年度サホ	ペート事業 振り返	Ŋ		
	4	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	旅行前説明会			
	5	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	海外旅行保険家	<b>E</b> 内		
	6	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	調査·研究			
授 業	7	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	調査・研究			
計	8							
画	9	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	まとめ			
前期	10	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	まとめ			
	11	研修旅行(台湾)		研修旅行(台湾)	報告会			
	12	2019年度サポート事業		アンケート作成				
	13	2019年度サポート事業		アンケート修正				
	14	2019年度サポート事業		アンケート分析・	研究			
	15	2019年度サポート事業		プランニング				
	16	2019年度サポート事業		プランニング				
履修上	の留意点 出席率:	」 気 が80%に満たない場合は、期	末試験の受験	資格を与えない	`			

科	 ]名	観光実務Ⅱ	В		指導担	 当者名	佐藤	 : : 宗
	経験	旅行	 会社にて4年間従事し	た経歴			実務経験:	有
開講	時期	前期	対	象学科学	学年		観光科2年	
授業	方法	講義:	 演習:		実習	:O	実	 技:
時	間数	56時間	週時間	数		28	寺間	
学習到	達目標	旅行会社で必要となるプランニングカ	を養う。					
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の記点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によ 果、必要と認められる場合には追試 成績評価は、A(80点~100点)(優 する。A、B、Cの評価は合格として単化	って行われ、受験資格 を実施する。 、B(70点~79点)(	客として授 良)、C(6	業実施の出席 0点~69点)	「率80%以上を (可)、D(0点~	を要件としている。	期末試験の結
使用	l教材							
	 朴学習 方法							
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等	
	17							
	18	オリエンテーション	オリエンテ	ーション				
	19	2019年度サポート事業	モニターツ	アー募集				
	20	2019年度サポート事業	モニターツ	アー募集				
	21	2019年度サポート事業	モニターツ	アー募集				
	22	2019年度サポート事業	モニターツ	アー募集	·準備			
授 業	23	2019年度サポート事業	モニターツ	アー募集	•準備			
計	24	2019年度サポート事業	モニターツ	アー募集	•準備			
画	25	2019年度サポート事業	モニターツ	アー募集	•準備			
後期	26	2019年度サポート事業	モニターツ	アー募集	•準備			
	27	2019年度サポート事業	モニターツ	アー最終	準備			
	28	2019年度サポート事業	モニターツ	アー実施				
	29	2019年度サポート事業	モニターツ	アーまとめ	ø			
	30	2019年度サポート事業	モニターツ	アーまとめ	か			
	31	2019年度サポート事業	モニターツ	アーまとめ	か			
	32	2019年度サポート事業	モニターツ	アーまとめ	ø			
履修上	の留意点 出席率	- - - - - が80%に満たない場合は、期末詞	    験の受験資格を与	えない				

科目	 ]名	表計算実習(E	xcel2016)		指導担	 当者名	太田	 光則
	· 経験	2117171			74 772		実務経験:	7027
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科2年	
	方法	講義:		習:		:O	実	 技:
時間	———— 間数	32時間		週時間数		2#	<del>!</del> 寺間	
学習到	達目標	マイクロソフトExcel2013操作方法及 ビジネスユースにあった計算処理能 また、9月に行われる、「Excel文書	能力を学び、実	実践で活用できる				
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果の点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験に 果、必要と認められる場合には追記 成績評価は、A(80点~100点)( する。A、B、Cの評価は合格として見	こよって行われ 式験を実施する 優)、B(70点	し、受験資格として る。 ~79点)(良)、0	て授業実施の出席 C(60点~69点)	常率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結
使用	教材	Excel2016 クイックマスター基本編	、Excel表計算	算処理技能認定試験3級問題集				
	朴学習 方法							
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	<b>等</b>	
							•	
	1	Excelの基本		Excelの基本操作	 乍、データ入力・絹	編集等 教科書		
	1 2	Excelの基本 データの編集			作、データ入力・総 直入力 教科書			
	•				直入力 教科書			
	2	データの編集		データ入力 数付相対参照 絶対	直入力 教科書	P59~P84		
	2	データの編集		データ入力 数付相対参照 絶対	直入力 教科書参照 設定 教科書 P	P59~P84		
	2 3 4	データの編集 データの編集 表の編集		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式 ページ設定 印	直入力 教科書参照 設定 教科書 P	P59~P84 85~P102		
授業	2 3 4 5	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式 ページ設定 印	直入力 教科書参照 設定 教科書 P	P59~P84 85~P102		
業 計	2 3 4 5	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷 グラフと図形の作成		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式 ページ設定 印 グラフ作成・図形 ワークシート	直入力 教科書参照 設定 教科書 P	P59~P84 85~P102 P103~P140		
計画	2 3 4 5 6 7	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式 ページ設定 印 グラフ作成・図形 ワークシート 統計関数 三角	直入力 教科書参照 設定 教科書 Pa 副範囲の指定 ジの作成 教科書	P59~P84  85~P102  P103~P140  141~P156		
業 計	2 3 4 5 6 7 8	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理 関数		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式 ページ設定 印 グラフ作成・図形 ワークシート 統計関数 三角	直入力 教科書参照 設定 教科書 P 副範囲の指定 の作成 教科書 関数 教科書 P	P59~P84  85~P102  P103~P140  141~P156		
業計画前	2 3 4 5 6 7 8	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理 関数 関数		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式 ページ設定 印 グラフ作成・図形 ワークシート 統計関数 三角 論理関数 日付 リストの作成 並	直入力 教科書参照 設定 教科書 P 副範囲の指定 の作成 教科書 関数 教科書 P	P59~P84  85~P102  P103~P140  141~P156  141~P156	‡ P1∼P58	
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理 関数 関数 データベース機能		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式 ページ設定 印 グラフ作成・図形 ワークシート 統計関数 三角 論理関数 日付 リストの作成 並	直入力 教科書参照 設定 教科書 P 副範囲の指定 の作成 教科書 関数 教科書 P 関数 教科書 P	P59~P84  85~P102  P103~P140  141~P156  141~P156	‡ P1∼P58	
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理 関数 関数 データベース機能 データベース機能		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式ページ設定 印 グラフ作成・図形ワークシート 統計関数 三角 論理関数 日付リストの作成 並データの抽出	直入力 教科書参照 設定 教科書 P 副範囲の指定 の作成 教科書 関数 教科書 P 関数 教科書 P	P59~P84  85~P102  P103~P140  141~P156  141~P156	‡ P1∼P58	
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理 関数 関数 データベース機能 データベース機能 総合問題		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式ページ設定 印 グラフ作成・図形ワークシート 統計関数 三角 論理関数 日付リストの作成 並データの抽出	直入力 教科書参照 設定 教科書 P 副範囲の指定 の作成 教科書 関数 教科書 P 関数 教科書 P	P59~P84  85~P102  P103~P140  141~P156  141~P156	‡ P1∼P58	
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	データの編集 データの編集 表の編集 ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理 関数 関数 データベース機能 データベース機能 総合問題 期末テスト 実施		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式ページ設定 印 グラフ作成・図形ワークシート 統計関数 日付リストの作成 並データの抽出 間題演習	直入力 教科書参照 設定 教科書 P 副範囲の指定 の作成 教科書 関数 教科書 P 関数 教科書 P	P59~P84 85~P102 P103~P140 141~P156 141~P156	‡ P1∼P58	
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	<ul> <li>データの編集</li> <li>データの編集</li> <li>表の編集</li> <li>ブックの印刷</li> <li>グラフと図形の作成</li> <li>ブックの利用と管理</li> <li>関数</li> <li>関数</li> <li>データベース機能</li> <li>総合問題</li> <li>期末テスト 実施</li> <li>海の日 祝日</li> </ul>		データ入力 数付相対参照 絶対 罫線 セル書式 ページ設定 印 グラフ作成・図 ワークシート 統計関数 日付 リストの作成 並 データの抽出 ・ 問題演習	直入力 教科書参照 設定 教科書 P 副範囲の指定 の作成 教科書 P 関数 教科書 P 関数 教科書 P 立び替え テーブル機能 教	P59~P84 85~P102 P103~P140 141~P156 141~P156	‡ P1∼P58	

科	∃名	ビジネス	電話演習		指導担	当者名	木村	美紀子	
実務	経験			•			実務経験:		
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科2年	*	
授業	方法	講義:	演習	i:O	実	雪:	実	技:	
時	間数	32時間		週時間数		2問	寺間		
学習到	達目標	ビジネス電話に関する知識、技能	<b>能を習得し職場で</b>	『求められる業務	)られる業務ができるようになる。ビジネス電話検定B級習得を目標を目標を関係を表現できるようになる。ビジネス電話検定B級習得を目標を				
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、1点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の48 する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。				期末試験の結					
		ビジネス電話検定受験ガイド、問題集							
	外学習 方法								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	<b></b>		
	17	ビジネス電話の基本		基本的な敬語					
	18	ビジネス電話4つの心得		迅速・正確・簡潔・丁寧について					
	19	電話応対の実例		第一声、応対言葉、復唱言葉					
	20	間違い電話への応対		実践練習					
	21	携帯電話のマナー		情報管理のマナ	_				
	22	オフィスでの一般的な電話応対		第一声、取り次を	ぎ、伝言メモ作成				
授 業	23	言葉遣い		不快感を与える	言葉の認識				
計	24	検定対策		練習問題					
画	25	ケーススタディ		会社を代表しての	の応対				
後期	26	ケーススタディ		話しの要約					
	27	ケーススタディ		整った口調					
	28	ケーススタディ		電話のかけ方実	 送				
	29	ケーススタディ		電話のかけ方実					
	30	総まとめ		ロールプレイング	がにより、実践力	を身につける			
	31	後期試験							
	32	総まとめ		ロールプレイング	がにより、実践力	を身につける			
履修上									

				1	1			
科目	1名	英会話Ⅱ	A	指導担当者	名 Sear	n Payne		
実務	経験				実務経験:			
開講	時期	前期	対象:	学科学年	観光科2年			
授業	方法	講義:〇	演習:	実習:	3	€技:		
時間	引数	32時間	週時間数		2時間			
学習到	達目標	それぞれの現場設定シチュエーション	ンにおいて会話を進行でき	るようになる				
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の 点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験に 果、必要と認められる場合には追試 成績評価は、A(80点~100点)(優 する。A、B、Cの評価は合格として単	よって行われ、受験資格と 験を実施する。 )、B(70点∼79点)(良)	して授業実施の出席率8 、C(60点~69点)(可)	30%以上を要件としている 、D(0点~59点)(不可)	る。期末試験の結		
使用	教材	ホテルの英会話ハンドブック	ドブック					
授業を	▶学習 5法							
学期	ターム	項目		内容•	準備資料等			
学期	1	フロント・宿泊業務	電話番号調べ	電話番号調べの依頼				
	2	フロント・宿泊業務	宿泊予約の受	付一希望をきく一				
	2	フロント・宿泊業務フロント・宿泊業務		付一希望をきく一				
				付一予約を受ける一				
	3	フロント・宿泊業務	宿泊予約の受	付一予約を受ける一話の取り次ぎ				
	3	フロント・宿泊業務電話オペレータ業務	宿泊予約の受外線からの電	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し				
授業	3 4 5	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出	:付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける				
業 計	3 4 5 6	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出 電話で伝言を	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える				
業 計 画	3 4 5 6 7	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出 電話で伝言を お客様に伝言	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える 電話の案内				
業 計	3 4 5 6 7 8	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出 電話で伝言を お客様に伝言 ダイヤル直通 指名通話の申	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える 電話の案内	の申し込み			
業計画前	3 4 5 6 7 8	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出 電話で伝言を お客様に伝言 ダイヤル直通 指名通話の申	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える 電話の案内 し込み ・クレジットカードコール	の申し込み			
業計画前	3 4 5 6 7 8 9	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出 電話で伝言を お客様に伝言 ダイヤル直通 指名通話の申 コレクトコール	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える 電話の案内 し込み ・クレジットカードコール を受ける	の申し込み			
業計画前	3 4 5 6 7 8 9 10	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出 電話で伝言を お客様に伝言 ダイヤル直通 指名通話の申 コレクトコール コレクトコール	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える 電話の案内 し込み ・クレジットカードコール を受ける	の申し込み			
業計画前	3 4 5 6 7 8 9 10 11	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出 電話で伝言を お客様に伝言 ダイヤル直通 指名通話の申 コレクトコール コレクトコール	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える 電話の案内 し込み ・クレジットカードコール を受ける	の申し込み			
業計画前	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務	宿泊予約の受外線からの電館内の呼び出電話で伝言をお客様に伝言をお客様に伝言タイヤル直通指名通話の申コレクトコールコレクトコールレストランの予	付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える 電話の案内 し込み ・クレジットカードコール を受ける	の申し込み			
業計画前	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	フロント・宿泊業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 電話オペレータ業務 しストラン・バンケット業務	宿泊予約の受 外線からの電 館内の呼び出 電話で伝言を お客様に伝言 ダイヤル直通 指名通話の申 コレクトコール コレクトコール レストランの予 席に案内する	・付一予約を受ける一 話の取り次ぎ し 受ける を伝える 電話の案内 し込み ・クレジットカードコール を受ける ・約を受ける	の申し込み			

科目	名	英会	話IB		指導担	当者名	Sean	Payne
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	後期		対象学	科学年		観光科2年	•
授業	方法	講義:	演 <sup>:</sup>	習:	実 <sup>:</sup>	習:	実	技:
時間	引数	32時間		週時間数		2#	寺間	
学習到	達目標	それぞれの現場設定シチュエー	ションにおいて会	≷話を進行できる	ようになる			
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し点で評価している。 評価方法 評価基準 親末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。 果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の する。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。		期末試験の結						
使用教材 ホテルの英会話ハンドブック 授業外学習								
授業が								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等	
	17	レストラン・バンケット業務		レストランでの会計				
	18	レストラン・バンケット業務		ルームサービス				
	19	レストラン・バンケット業務		ギフトショップで				
	20	レストラン・バンケット業務		館内の案内				
	21	レストラン・バンケット業務		とっさの対応				
	22	レストラン・バンケット業務		クロークの対応				
授 業	23	お客様のリクエストとホテル側の	対応	部屋番号·金額	などのいい方			
計	24	緊急時の対応		電話番号•日付	などのいい方			
画	25	フロント・宿泊業務		チェックイン				
後期	26							
	27	フロント・宿泊業務		チェックアウト				
	28	フロント・宿泊業務		お部屋への案内	りと説明			
	29							
	30							
	31							
	32							
履修上(	の留意点	ā						

科目	目名	ホテル	既論 I		指導担語	当者名	木村	美紀子
実務	経験			•			実務経験:	
開講	時期	前期		対象学	科学年		観光科2年	
授業	方法	講義∶○	演習:		実習	9 . 9 :	実	技:
時間	<b>『数</b>	28時間	追	<b></b>		28	寺間	
学習到	達目標	ホテルの宿泊部門について学び、 サーティファイホテル実務技能検	、ホテルビジネス実務 定初級(7月16日)	务検定試験 <i>σ</i>	)合格を目指す。			
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には追成績評価は、A(80点~100点) する。A、B、Cの評価は合格として	によって行われ、受 試験を実施する。 (優)、B(70点~79	験資格として 9点)(良)、C	で授業実施の出席 で(60点~69点)	5率80%以上を	を要件としている。	期末試験の結
使用	教材	ウィネット「ホテルテキスト宿泊 I :	フロントオフィス編」「;	ホテルテキスト宿泊Ⅱフロントサービス編」				
授業がのフ	1学習 5法							
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等	
学期	<b>ターム</b> 1	項目 フロントフィスとは	意義	養と役割、組		容·準備資料	<b>等</b>	
学期	•			養と役割、組糸 ≧タイプ料金?	哉と業務	容・準備資料	等	
学期	1	フロントフィスとは	客室	室タイプ料金:	哉と業務	容·準備資料	等	
学期	1 2	フロントフィスとは 客室の種類	客室	室タイプ料金:	載と業務 ンステム レドマネジメント	容·準備資料	*	
学期	1 2 3	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務	客室 予約 電話	室タイプ料金: り業務、イール 舌予約、予約	載と業務 ンステム レドマネジメント		<b>等</b>	
学期	1 2 3 4	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務	客室予約電話レセ	室タイプ料金シ 対業務、イール 話予約、予約・アクションサー	載と業務 システム レドマネジメント 受付		<b>等</b>	
授	1 2 3 4 5	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務 レセプション業務	客室 予約 電話 レセ チェヽ	をタイプ料金:  力業務、イール  話予約、予約  プションサー  ックイン・チェ	載と業務 レステム レドマネジメント 受付 -ビス、ルームア+	ナインメント	<b>*</b>	
授業計	1 2 3 4 5 6	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務 レセプション業務 レセプション業務	客室 予約 電話 レセ チェ、 会計	をタイプ料金:  対業務、イーリ  話予約、予約  プションサー  ックイン・チェ  十業務、宿泊	載と業務 レステム レドマネジメント 受付 -ビス、ルームア+	ナインメント	*	
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務 レセプション業務 レセプション業務 フロントキャッシャー業務	客室 予約 電話 レゼ チェ、 会計	をタイプ料金:  対業務、イーリ  話予約、予約  プションサー  ックイン・チェ  十業務、宿泊	載と業務 レステム レドマネジメント 受付 ・ビス、ルームア・ ・ックアウト業務 料金計算、貴重品	ナインメント	<b>等</b>	
授業計	1 2 3 4 5 6 7 8	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務 レセプション業務 レセプション業務 フロントキャッシャー業務 インフォメーション業務	客室 予約 電話 レセ チェン 会計 ルー 防犯	を タイプ料金 シャン サード アクイン・チェックイン・チェー 十業務、宿泊 ・	載と業務 レステム レドマネジメント 受付 ・ビス、ルームア・ ニックアウト業務 料金計算、貴重品 シティインフォメー 物管理	ナインメント	等 ————————————————————————————————————	
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務 レセプション業務 レセプション業務 フロントキャッシャー業務 インフォメーション業務 防犯業務	客室 予約 電話 レセ チェ、 会計 ルー 防犯 組織	をタイプ料金: 対策務、イール ま予約、予約 でプションサーックイン・チェー 十業務、宿泊・ ーム・ハウス・ 見管理、遺失・	戦と業務 レステム レドマネジメント 受付 ビス、ルームア+ ニックアウト業務 料金計算、貴重品 シティインフォメー 物管理 事者の基本	ナインメント	<b>等</b>	
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務 レセプション業務 レセプション業務 フロントキャッシャー業務 インフォメーション業務 防犯業務 フロントサービスとは	客室 予約 電話 レセ チェ、 会計 ルー 防犯 組織 業務	を タイプ料金: 対策務、イール ま 予約、予約 でプションサーックイン・チェ 十業務、宿泊: 一ム・ハウス・ ひき 理、遺失・ 載と業務、従事	載と業務 レステム レドマネジメント 受付 ・ビス、ルームア・ ・ツクアウト業務 料金計算、貴重品 シティインフォメー 物管理 事者の基本	ナインメント	*	
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務 レセプション業務 レセプション業務 フロントキャッシャー業務 インフォメーション業務 防犯業務 フロントサービスとは ドアマン	客室 予約 電話 レセ チェン 会計 ルー 防犯 組織 業務	をタイプ料金: 対業務、イール は予約、予約 プションサー ックイン・チェ 十業務、宿泊: 一ム・ハウス・ ひき理、遺失 歳と業務、従輩 る、送迎、案内	載と業務 システム レドマネジメント 受付 ・ビス、ルームア・ ニックアウト業務 料金計算、貴重品 シティインフォメー 物管理 事者の基本 内	ナインメント	等 ————————————————————————————————————	
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	フロントフィスとは 客室の種類 リザベーション業務 リザベーション業務 レセプション業務 レセプション業務 フロントキャッシャー業務 インフォメーション業務 防犯業務 フロントサービスとは ドアマン ベルマン	客室 予約 電話 レセ チェン 会計 ルー 防犯 継業務 接客	をタイプ料金・ 対業務、イール ま予約、予約 プションサー ックイン・チェ 十業務、宿泊・ 一ム・ハウス・ む管理、遺失 歳と業務、従い ない、実の ない、実の ない、実の ない、実の ない、実の ない、また。 ない、 ない、 ない、 ない、 な、 ない、 な、 ない、 な、 な、 な、 な、 な、 な、 な、 、	載と業務 レステム レドマネジメント 受付 ビス、ルームア+ ニックアウト業務 料金計算、貴重品 シティインフォメー 物管理 事者の基本 内 コビー管理 歴史、業務	ナインメント	<b>等</b>	

ロールプレイングによる実務練習

履修上の留意点

実務

学期	ターム	項目			Þ	容•準備資料	· 等	
授業外 の方								
使用教	<b>教材</b>	いちばんやさしいコンテンツマー	ケティングの教オ	な 1からの消費	者行動			
評価ブ 評価3	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成身点で評価している。 規末試験は実技試験や筆記試験 果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点 する。A、B、Cの評価は合格とし	検によって行われ 自試験を実施する )(優)、B(70点	い、受験資格として る。 ~79点)(良)、(	で授業実施の出 に(60点~69点	席率80%以上を )(可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結
学習到達		マーケティングや消費者行動をきお客様の行動に関して、仮説を3件間と意見を出し合い、まとめて	立て活用できるよ	うにする。		、捉え方、		
時間	数	32時間		週時間数		2時	間	
授業プ	方法	講義:◎	演	習:	実習	実習∶○ 実		支:
開講明	寺期	前期		対象学	科学年		観光科2年	
実務紙	怪験		企業コンサル	タント業を経営			実務経験:	有
科目	名	消費者	行動学		指導担	当者名	太田	光則

学期	ターム	項目	内容·準備資料等		
授業計画 前期	1	イントロダクション	個人としての消費者		
	2	知覚·学習	露出·組織化		
	3	記憶·態度	記憶のメカニズムと短期記憶		
	4	意思決定	情報検索・態度		
	5	セグメンテーション	セグメンテーション・デモグラフィックス		
	6	コミュニケーション	発信源効果・メッセージ効果		
	7	店頭マーケティング	アイデンティティと消費		
	8	店頭マーケティング	インストアマーチャンダイジング		
	9	家族·集団	家族の購買意思決定		
	10	ステイタス・サブカルチャー	マイクロカルチャー・ブランドコミュニティ		
	11	文化	聖なる消費・俗なる消費		
	12	マーケティング戦略・プランニング	グループワーク		
	13	マーケティング戦略・プランニング	グループワーク		
	14	期末テスト			
	15	マーケティング戦略・プランニング	グループワーク		
	16	マーケティング戦略・プランニング	グループワーク		

履修上の留意点

科目名		イベントプラン	指導担当者名			太田 光則						
実務経験		企業コンサルタント業を経営					実務経験:	有				
開講時期		後期		対象学科学年			売ビジネス科2	年				
授業方法		講義:〇	演習	習: 実習:〇		:O	実技:					
時間数		32時間		週時間数		2時間						
学習到達目標		消費者行動をベースに実際に企画を立案し、プレゼンまで実施できるレベルまでを目指す。										
評価方法 評価基準		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。										
使用教材												
授業外学習 の方法												
学期	ターム	項目		内容·準備資料等								
授業計画後期	17	オリエンシートについて	;	オリエンシートの役割、アイディアの作り方								
	18	企画書作成のポイント、企画書作成		全体の流れを把握、企画書作成の役割分担								
	19	企画書作成(2)		役割分担し企画書制作進行								
	20	企画書作成(3)		全体確認								
	21	企画書作成(4)	3	効果的なプレゼンについての講義								
	22	プレゼン演習	企画書まとめと演習									
	23	プレゼン実演・講評										
	24	企画立案とプレゼンについての振り	レポート作成									
	25	ビデオ学習、ディスカッション	プレゼンに関する番組からチョイス									
	26	ビデオ学習、ディスカッション	アイディアに関する番組からチョイス									
	27	ビデオ学習&レポート作成	レポート作成									
	28	ビデオ学習&レポート作成	レポート作成									
	29	後期の振り返り	後期全体についての復習									
	30	期末試験										
	31	検定対策	ā	お金にまつわる話								
	32	<b>検定対策</b>	仕事は何のためにやるのか									
履修上	の留意点	1										